

# ぼん 3 4 5



平成 22 年 4 月

社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部

## 支部長挨拶

会員の皆様方には建築士会活動にご参加ご協力をたまり厚くお礼申し上げます。  
皆様方とともに歩んできた神戸支部は、2年後の平成24年に創立50周年を迎えます。  
今年度より50周年に向けての準備をはじめて参ります。  
その節は皆様方のご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

先日、旧二葉小学校の図面を見る機会に恵まれました。戦前に数多く建てられたという鉄筋コンクリート造の小学校で、現存する数少ない一校です。近くの公園には、本誌表紙に掲載されている「鉄人28号」が立ち、改修後にはロボット・ものづくり体験の場として活用されるそうです。もちろん原図は無く実測してCADで作成された図面だったのですが、設計者がいかに心魂を傾けて設計を行ったかが伝わってくるようでした。最近の建築物に見られるスリットを多用した明解すぎる構造とは異なり、アーチ状の梁・ゴシック風の柱が創り出す外観にどこか懐かしい優しさが感じられました。「愛着ある校舎を残してほしい」という住民の要望がかない、戦災・震災を乗り越えた地域のシンボルとして改修・活用される日には一度訪れてみたいと思っています。



(21年度総会 武野支部長挨拶)

総務委員会は、迅速で且つ的確な情報の発信にとホームページの充実に力を注いでいます。情報企画委員会・研修委員会・青年部会は、年間を通して見学会・講習会・勉強会などいろいろな事業を行っています。事業に参加するだけでなく、一緒に企画することに興味のある方は是非とも委員会にご参加ください。 (武野 朋子)

## 平成 21・22 年度役員

支 部 長	<u>武野 朋子</u>	
副支部長	<u>戎 孝之</u>	(研修委員会担当)
	<u>田中 義之</u>	(総務委員会担当)
	<u>長谷川 清</u>	(情報企画委員会担当)
	<u>前川 象二郎</u>	(青年部会担当)
理 事	<u>荒川 直樹</u>	
	大塚 正	
	木戸 芳朗	
	木山 正典	
	<u>久宝 弘幸</u>	
	湖亀 一登	
	佐々木 博司	
	佐々木 康行	
	常俊 桂子	
	<u>常峰 博文</u>	
	<u>日高 俊二</u>	
	藤原 路弘	
	三島 悦子	
	宗政 安俊	
	矢代 恵	
	安水 正	
監 事	加藤 恒郎	
	瀬川 良一	
顧 問	奥田 晃一	
	野崎 瑠美	
	水谷 忠清	

※\_\_\_\_\_は常任理事

## 総務委員会

総務委員会では各委員会の事業の調整、年度予算案の作成、会計のほか、広報活動としてホームページの運用なども行なっています。会員数が少なくなっている中、士会に魅力を感じてもらえるよう各委員会ともどもさらに活発な活動を行なって行きたいと思います。



総会の様子



武野新支部長挨拶

### 【21 年度メンバー】

担当副支部長	田中	義之
委員長	久宝	弘幸
副委員長	宗政	安俊
	宮本	佳尚
委 員	赤澤	祥語
	後藤	俊子
	三島	悦子



特別講演会の様子



懇親会の様子



## 研修委員会メンバー

担当副支部長 戎 孝之

委員長 常峰 博文

副委員長 木戸 芳朗  
佐々木 博司  
高橋 博之  
藤原 路弘

委員 石田 敦  
伊藤 美代子  
大佐和 武彦  
佐久間 建  
芝崎 康子  
瀬戸口 茂  
滝沢 弥紀  
多々良 洋介  
中居 博喜  
長谷川 明弘  
廣原 俊元  
前田 佐枝  
宮崎 宏和  
安水 正  
山下 享子  
横田 佳史

## スケッチパース教室 事業報告書

6月27日(土)、7月11日(土)、25日(土)の3日間にわたり、手描きパースの講習会が行われました。最近では、CGが主流となり、手描きパースは、めっきりと少なくなり、CGは比較的、簡単にでき上がるが、できあがりは一面的で、味のないものに感じられる。また、建築士は、施主の前でも手描きでイメージを伝える事ができなくなっているのではないかと、ここで、手描きを見直し、実務に役立てていただきたいという主旨で企画しました。これまで、CGによるパース講習会は、何回となく行ったが、手描きには初めてであり、参加者がどれだけ集まるか、読めなかったが、委員、事務局の努力により何とか予定人数が集まり、ほっとしたところです。

当日は、パース界で大活躍されているコラムデザインセンターの宮後先生と湯浅先生に講師をお願いしました。このような出前スクールは、とても慣れておられる様子で、3日間とも、とても、和やかで楽しい雰囲気でした。受講生からは、とても役に立った、楽しかったと大好評で、是非とも来年以降もやって欲しいという要望が多々寄せられました。

受講生、スタッフの皆様、お疲れ様でした。とても情熱的に楽しく教えていただきました宮後先生と湯浅先生に深く感謝致します。(担当 安水 正)



■ タイトル 「スケッチ・パース教室」

■ 目 的 最近になって、パソコンが普及して、建築のプレゼンテーションは、ほとんどがCGにより行なわれるようになった。その結果、誰でもが手軽に描けるようにはなったが、画一的になってしまい、設計士としての個性、手法が失われつつある。そこで、手描きによるスケッチ・パースの良さを見直し、クライアントの前で手軽に自己表現できるプロの手法を学ぶ。

■ 講 師 コラムデザインセンター講師（宮後 浩 先生、湯浅 禎也 先生）

■ 内 容 フリーハンドによりマーカー、色鉛筆などで手軽にできるスケッチ・パースの手法を学ぶ。実社会で活躍されているプロのデザイナーを講師として招く。

第1回 外観パースの起し方

第2回 内観パースの起し方

第3回 色のつけ方(水彩)

■ 対 象 兵庫県建築士会会員、非会員

■ 受 講 料 全3回 会員：¥6,000 非会員：¥9,000 ※教材費は、実費 ¥500  
各回単独の受講も可。その際は、1回につき、会員¥2,000 非会員¥3,000

■ 日 時 平成21年6月27日(土)、7月11日(土)、25日(土) 午後13:00～16:00 3回

■ 場 所 兵庫県中央労働センター <http://www.hyogo-chuoroudo-center.jp/index.html>  
〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3-28 TEL：078-341-2271

■ 参加人数 第1回 会員：14人 非会員：6人 委員：9人 計 29人  
第2回 会員：12人 非会員：7人 委員：6人 計 25人  
第3回 会員：10人 非会員：2人 委員：7人 計 19人

■ 収支報告 別紙の通り

## 「スケッチパース教室」に関するアンケート結果

今回は、「スケッチパース教室」にご参加いただき、ありがとうございました。今後、より良き建築士会運営等の参考にさせていただきたいと思いますので、皆様の御意見をお聞かせ下さい。

回答数 17 人

### 1. 年代

- |         |     |           |     |
|---------|-----|-----------|-----|
| 1. 20 代 | 1 人 | 4. 50 代   | 5 人 |
| 2. 30 代 | 3 人 | 5. 60 代   | 2 人 |
| 3. 40 代 | 3 人 | 6. 70 代以上 |     |

### 2. 職業

- |             |     |             |     |
|-------------|-----|-------------|-----|
| 1. 意匠系設計事務所 | 9 人 | 4. 工務店、建設業者 | 5 人 |
| 2. デザイン事務所  |     | 5. 役所関係     |     |
| 3. 構造系設計事務所 |     | 6. その他      | 2 人 |

### 4. 今回の勉強会は、何によって知りましたか？

- |               |     |           |     |                 |  |
|---------------|-----|-----------|-----|-----------------|--|
| 1. 建築士会からの DM | 9 人 | 2. つどい    |     | 3. すまいるネットからの案内 |  |
| 4. 知人からの紹介    | 1 人 | 5. ホームページ | 1 人 | 6. その他          |  |

### 5. 建築士会の方へ、今回の受講料（各回¥2,000）は、について

- |         |     |         |     |       |      |
|---------|-----|---------|-----|-------|------|
| 1. 高い   | 1 人 | 2. やや高い | 1 人 | 3. 適正 | 11 人 |
| 4. やや安い |     | 5. 安い   | 1 人 |       |      |

高い、または、安いと答えられた方、いくら位が適切と思われますか？（ ￥ 1,000 ）

### 6. 今回の講習会はいかがでしたか？

- |             |      |              |  |
|-------------|------|--------------|--|
| 1. とてもよかった  | 12 人 | 4. あまりよくなかった |  |
| 2. まあまあよかった | 3 人  | 5. よくなかった    |  |
| 3. ふつう      |      | 6. 何とも言えない   |  |

その理由、感想など（具体的にご記入下さい）

- 説明が丁寧であった。
- 宮後先生に来てもらっての公衆ということで大変、楽しく勉強できた。ありがとうございました。
- とても、勉強になりました。
- 楽しかった。
- 今後も参加したいと思う。ありがとうございました。
- 実践的で役にたった。





## 平成 21 年度「歴史と環境を学ぶ会」の事業報告

毎年恒例になっている「歴史と環境を学ぶ会」を 6 月 20 日（土）に開催しました。

本年度は、奈良県だけでなく京都府でありながら奈良に近いということで奈良大和路としてよく紹介されている当尾地方の寺院にも行ってきました。

まず、午前中に奈良・柳生の里にある円成寺を訪問し、ご住職より円成寺の成り立ちや本堂内の諸仏像について説明を受けたのち、境内に点在する国宝・重要文化財の建造物を各自見学しました。又、当日は、本来多宝塔内にある運慶作の大日如来像(国宝)が、何十年に一度の煤払いを本堂前にて行っており、普段は見ることのできない仏像の光背を取り外した背中や大日如来像の表情・細部を間近で見ることができました。

午後からは、当尾の里の浄瑠璃寺及び岩船寺を訪問し、どちらもご住職による寺の成り立ちや堂内の諸仏像について説明を受けたのち、堂内・境内を各自で自由に見学・散策しました。又、予定よりスムーズにいったため、余った時間を利用して当尾の里に点在する石仏の見学も行うことができました。

梅雨の真っ直中でありながらも、今回は天候にも恵まれ、参加者にとって楽しい一日を過ごせたことと思っています。（研修委員会 佐々木博司）

---

日 時：平成 21 年 6 月 20 日（土）8：30～18：30

集合：神戸市役所北側花時計前 解散：三宮駅東ラウンドワン前

内 容：柳生・当尾の里

円成寺 楼門・本堂・春日堂・白山堂・宇賀神本殿・多宝塔・庭園  
大日如来像(運慶作)・四天王像

浄瑠璃寺 本堂(九体阿弥陀堂)・三重塔・庭園  
九体阿弥陀如来像・四天王像・地藏菩薩像

岩船寺 三重塔・本堂  
阿弥陀如来像(行基作)

当尾の里 石仏(わらい仏・不動明王立像他)

参加費：会員－4500 円 非会員－6500 円

参加人数：37 名（会員 32 名・非会員 4 名・事務局 1 名）

---

円成寺 楼門  
楼門前に集合  
九体阿弥陀堂  
岩船寺本堂  
石仏

円成寺 本堂にて  
昼食  
浄瑠璃寺・三重塔  
岩船寺三重塔









## 平成21年度 第1回法規講習会報告

7月1日（水）私学会館4階大ホールにて今年度の第1回法規講習会が行われました。受講者は会員111名、非会員3名の合計114名で今回の講習内容は「長期優良住宅について」、「神戸市建築物安全安心実施計画その他について」、「昇降機関係の法改正について」、「消防法の一部改正について」でした。



構造計算偽造事件、人口の減少、地球環境の変化等建築を取り巻く環境が変化する中、建築関係の法制度の改正が相次いで施行されていますが今回の「長期優良住宅について」などはビルド&スクラップの高度成長期の建築社会からストック活用の時代への移行の象徴のような事例と思われます。社会環境が大きくシフトして行く中、私たちも新しい方向性を講習会を通して身につけていかなければと実感いたしました。

（研修委員会 常峰博文）



## 登録文化財耐震改修現場見学会＋三木の町並み散策を終えて

今回の事業は社支部のご協力のもと行われました。

もうすぐ師走ということもあったせい参加者の方も予定していたより若干少なく会員24名（うち社支部協力6名）で行いました。三木市と言うと余りなじみのない方々が多いかもしれませんが歴史は古く特に現代の町並み形成のもととは戦国時代末期にさかのぼります。三木市の旧市街地には有馬道（ありまみち：湯ノ山街道と呼ばれています）、姫路道（ひめじみち）、明石道（あかしみち）が交差している交通の要所でもありました。



これらの街道沿いに大工鍛冶の町として発展し、江戸時代後期から明治、大正建造の切妻平入りの町屋が数十年前までは軒を連ねていましたが現在ではその数も激減しています。その姫路道界隈の町歩きと移設保存され骨組みだけとなった旧三木鉄道三木駅舎方面に足を運びました。この駅舎の現状は軸組を残しあとは全て撤去されている様で建物を保存するとはどういうことなのか？を再自問する光景でした。続いて国の登録文化財である小河家別邸を訪れると建物はもちろんのこと庭園のすばらしさには改めて感動します。この庭園も登録記念物となっていて今回参加できなかった方々にも是非一度は見学していただきたい物件（現在月一度の一般公開を行っています）です。この私有建物であったこの別邸も所有者である方の文化財保存に対する深い理解のもと保存活動を数年前より行ってきましたがこの度三木市に寄贈という形でその努力が実りこれから郷土の文化資産として保存活用して行く方向になりました。こういう熱意と文化財建造物に対する建物所有者の理解には建築士個人としても尊敬の念をいだき心より感謝しています。





午後からは登録文化財旧玉置家（たまおきけ）住宅の耐震改修現場のセミナーと見学会を行いました。セミナーでは文化財建造物を中心とし、官民一体となったこれからのまちづくりについて、又耐震改修に関する技術的な講演を聴いたあと現場見学に入りました。現場の見学会では耐震補強された（隠ぺい部）が既に仕上げを施され肝心の補強の様子が全く見学できなかったこと、又補強に関する具体的な資料も配付されなかったのが建築の専門家として残念でなりませんでした。そういった事情により予定より若干早く事業が終了しましたが事故も無く終われましたことについては社支部はじめスタッフの方々に心より感謝いたします。

（研修委員会委員長 常峰博文）

## 神戸の近、現代建築見学会の報告

平成 21 年 12 月 4 日、神戸の近、現代建築見学会ということで川崎製鉄西山記念会館と旧国立神戸市立生糸検査所の見学を行いました。

参加者は平日ということもあり若干少なめの 17 名でした。

西山記念会館は建築家村野藤吾の設計により 1975 年竣工した建物で、三角形の独特の形態が大変印象的な建物です。

西山記念会館事務局長の案内で地下の多目的ホールから 700 人収容の大ホール、最上階の喫茶室、サロンまでくまなく見学できました。途中喫茶室では参加者皆さんが、コーヒーを飲みながら歓談する時間をもうけました。事務局長も歓談に加わっていただき、館にまつわるいろいろなエピソードを聞かせていただきました。

西山記念会館は内部外部ともほとんど改変されておらず、家具や照明も当初のまま保存されていたので村野藤吾のデザインを十分堪能することができました。

最後に 1 階の西山弥太郎初代社長の記念室を見学した後、西山記念会館を後にし、生糸検査所へ向かいました。



生糸検査所は、1927 年竣工の旧館（旧神戸市立）部分と 1932 年竣工の新館（旧国立）部分からなっています。いずれも神戸を代表する近代建築の名作です。

旧館は神戸市営繕課の設計、担当は御影公会堂なども担当した清水栄二です。意匠的にはチューダーゴシックと呼ばれる様式を基調としております。

新館は置塩建築事務所の置塩章設計です。置塩章は兵庫県営繕出身の建築家で兵庫県建築士会の初代会長も務めていました。

新館の意匠は同じゴシックですが、当時最新のデザインであるゼセッションの影響を受けたネオゴシックと呼ばれる様式で、重厚な旧館に比べてより軽快で動的なデザインです。

見学は、まず大きなトラス架構が印象的な荷捌き場で神戸市の担当の方から概略の説明を受けた後、各検査室を見学しました。検査室は建物のみならず生糸の検査過程がわかるよう、様々な検査機器も保存されており、さながら産業遺構の博物館の様でした。

この建物は 2009 年 7 月に神戸市が取得しデザインクリエイティブセンターとして生まれ変わる予定で、将来どのような活用をされるか楽しみです。

最後に屋上に上がると廻りは神戸税関や新港貿易会館ビル、港湾施設や倉庫街が一望でき神戸の港まちの風景も存分に楽しむことができました。



神戸には優れた近、現代建築が多く存在する一方、惜しまれつつ解体される建物もあります。今回、西山記念会館と生糸検査所という丁寧に保存、活用された建物を見学できたのは神戸で建築を行う私たちにとって大変有意義であったと思います。

（研修委員会 槇本光展）

## 平成21年度第2回法規講習会

去る12月7日(社)兵庫県建築士会神戸支部・(社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部共催のもと参加者、会員101名、非会員4名の合計105名で平成21年度第2回法規講習会を開催いたしました。

今回の法規講習会では、今年10月から本格的に施行されました。「住宅瑕疵担保履行法」と“まもりすまい保険”など住宅購入者の保護と事業者の資力確保の内容、また「建築行政に関する最近の動向について」・「最近の消防法令の改正について」等と共に「建築確認のための総則集団規程の適用事例」などの講演がありました。

社会的にコンプライアンスが強く求められているところであり、法令の遵守はもちろん適正にかかわることにより、建築士の皆様により多くの勉強の機会を設けていきます。  
今後とも法規講習会を実施していきますので、皆様のご参加をお願い申し上げます。





## 平成21年度 神戸市立医療センター 新中央市民病院 現場見学会報告

地方独立行政法人神戸市民病院機構からご紹介いただき、今回初めての試みとして、本部研修委員会と神戸支部研修委員会の合同事業を実施しました。神戸市ポートアイランド二期において、「神戸市立医療センター 新中央市民病院」が平成23年春のオープン予定で、昨年3月に着工しており、現在鉄骨工事が行われております（免震構造）。



事業者が病院施設等の設計、建設、工事監理を行い、市に所有権を移転し、事業期間を通して維持管理、運営業務を行うPFI（BTO）方式が採用されています。その事業スキーム及び施設概要の説明を聴かせていただきました。また、病室やナースステーションを、実際使用する医師や看護師の方々へ説明するために設けられた、実物のモックアップを設置したショールームを見学させていただきました。ここで多くの議論がなされたそうです。

（研修委員会 木戸芳朗）



日時：2009年12月10日（木）PM2:00～PM4:30

場所：神戸市中央区港島南町2丁目

参加：会員 17名・非会員 5名 合計23名



# 情報企画委員会

## ★ 建築士と市民をつなぐ

当委員会は設立以来、建築士と市民の交流を主目的に活動を行っています。主に神戸市すまいの安心支援センター（すまいるネット）と協賛した事業を行っており、行政と連携した楽しい事業を通しての人付き合いがあるのが特徴です。建築士として人脈の幅を広げたいと思っている方は一度、委員会を覗いてみませんか。たくさんの参加をお待ちしています。

## ★ 平成21年度委員会メンバー

担当副支部長：長谷川 清

委員長：日高俊二

副委員長：横田佳史、常俊桂子

委員：木山正典、小谷 茂、高橋眞治、山際洋子、内藤隆也、金岡正一、木下 功、三島悦子

協力委員：水谷忠清、野崎瑠美、田中嘉之

## ★今年度新委員の声

### <情報企画委員会に参加して>

建築を含むものづくりに携わって50年を超え、建築士会に再入会して5年になります。士会報等を拝見して、建築士の方々がいろいろの場で活動されている報告が多く紹介されている中に、諸先輩から教わった知識、技能で、何かの手伝いが出来たら・・・と考えていましたところ、士会理事の友人から「情報企画委員会が良い」と紹介され、参加させていただきました。活動報告の裏には、企画から実行に至るまでの真剣な検討は、ものづくりの真髄「思いやる、感謝、自立の心をもって、みんなと協力して事を為す」と同じと感じています。参加して二つの事業で、関係者から、大きな感動と新たな知識を頂きました。この委員会は、新旧者の差別なく活動されています。もっと参加者が増え、事業企画ができることを願っています。（金岡正一）

### <ほんの出来ゴコロで…>

特別講演後の懇親会場で、情報企画委員の方にお誘いを受け、深く考えもせず参加を承諾（ちょっとどんな様子かのぞいてみたかったのだ）。その調子で委員会に出席してみると― 交通整理が必要なくらい行き交う意見の多さにびっくり!?「会合に出るなら協議事項について意見を持って出席すべき」との指摘（当然なのですが）に一瞬たじろぐも、ここで逃げ出しては女が廃ると、再度認識を改めて臨戦態勢に― いや、話し合いに参加させていただきました。その甲斐あって“長く住み続けられる住まいスクール”の企画を担当させていただき、参加者・スタッフ共に有意義な時間を持つことができました。と、締めくくれないのは、動機が不純だったからでしょうか…（三島悦子）



金岡委員



三島委員

### <今年1年を振り返って>

昨年の5月より当委員会に参加させていただき、約1年が経とうとしています。参加した当初は誘われるまま参加したため、何をしたらよいのか分からず戸惑いもありましたが、事業を通じて委員や一般市民と接することにより、やりがいと楽しみを感じることができ、充実した1年を過ごすことができ、感謝しています。（木下功）



## ★ 活動紹介

### <驚き・発見・みんなで作ろう木のアート>

(小学生対象の事業)



講師の山際委員 (左)、横田副委員長 (右)



ピアノの腕前はプロ級  
の高橋委員



語り部の木山委員  
(中央)



長谷川副支部長 (左)、日高委員長 (右)



小谷委員 (左手前)、田中委員 (右手前)

### <建築士と考えるすまいスクール>

～永く住み続けるための提案&高嶋邸見学～



講師の常俊副委員長 (右)

～永く住み続けられる住まいをめざして～



講師の内藤委員 (右)



## 子ども事業

### 「驚き・発見！みんなでつくろう木のアート」

日 時：平成 21 年 8 月 22 日(土)13:00～16:00

場 所：竹中大工道具館

参加者：子ども 17 名、保護者 13 名、計 30 名  
(スタッフ 13 名)

- 内 容：1) 展示学習／斧や鋸の進化、木から板になるまでの過程と樹種の違いを学ぶ  
2) 面白講義／クイズと小実験で木の特性を学ぶ  
3) 体験制作／木の枝、葉っぱ等を使ったアート作品の制作

情報企画委員会では昨年に引き続き「夏休み」期間中の親子参加事業として企画しました。準備期間も限られたなかで、スタッフは木に関するクイズ作成と実験準備に工夫を凝らし、木のアート作品の材料調達に奔走しました。

当日は、第 1 部として竹中大工道具館学芸部長渡邊様に、展示してある鋸や鉋などの大工道具と木から板になるまでの過程、松や檜などたくさんの種類の木の年輪展示物を前に樹種の特性を説明していただきました。講師の説明が始まると子どもたちは説明用の液晶パネルの前に集まり、興味深そうな眼差しで説明を聞き、関心の高さが伺われました。



実験の様子

第 2 部の面白講義では、木に関するクイズと小実験を行いました。木に関するクイズでは子どもや親から答えを引き出すことができ、有意義な時間が過ごせたと思います。

また、小実験では、工夫を凝らした細長い板に重りを載せてどのように撓むか、建物の骨組み模型に板材をはめ込み横から力を加えるとどんなに硬くなるかなどの構造実験などを行いました。子どもたち

は不思議そうな表情で実験に参加し、自らの体で感じたことは一生忘れることはないでしょう。



アート制作風景

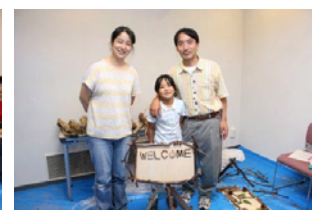
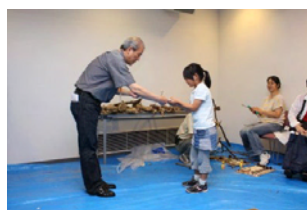
第 3 部は、子供達お待ちかねの体験制作です。会場の中央に材料を入れた箱を並べておき、そこから気に入った材料を自由に選ぶことができるようにしました。アート制作をしたいと言う保護者の方々にも材料を渡して、参加していただきました。子供も親も、アート制作に夢中でした。スタッフも鋸や電動工具を使い、材料を切り分けたり、穴あけをしたり、固定するために釘打ちをしたりと、次から次へとお手伝いを行い、あっという間に時間が過ぎていきました。

できあがった作品は一人ずつ皆さんの前で披露し、どんなテーマで作成したのか、どんなところを工夫したのかを発表していただきました。最後には、作品とともに撮った写真を貼った「木の博士認定証」を進呈しました。

どの子も帰り際には満面の笑みを浮かべ「ありがとう」「楽しかった」と言ってくださり事業の成功を実感するとともに疲れも吹き飛んでしまいました。最後に会場を提供してくださった竹中大工道具館、事前の準備から当日の段取りに至るまで全面的にご協力いただいたすまいるネットの皆様へ、心よりお礼申し上げます。(記：木下 功)



木のアート作品の発表風景



作品と「木の博士認定証」の授与風景



## 京・大山崎の建築たうんウォッチング

日 時：平成 22 年 3 月 14 日(日)9：30～17：00  
参加者：42名（一般市民19名、建築士会会員14名、スタッフ9名）

見学施設：①聴竹居  
②大山崎山荘美術館  
③水無瀬神宮茶室燈心亭  
④サントリー山崎蒸留所  
⑤旧西国街道の町並み

情報企画委員会では、建築士と市民の交流をととして建築の理解を深めることを目的とした建築たうんウォッチングを企画しました。

今回は神戸を離れ、京都近郊大山崎の風光明媚な地に佇む昭和の名建築「聴竹居」、モネの名画に会える大山崎山荘美術館、伝統の建築意匠に匠の技が水無瀬神宮茶室「燈心亭」を見学、合わせて旧西国街道のレトロな風情が漂う街並みを散策しました。

初めて兵庫県外へウォッチングに出かける企画でもあり、参加費が4,000円という高めの設定でした。そのため、参加者が募集定員に満たないのではないかという不安もありましたが、定員を超える申込があり、お断りをした方々には大変申し訳なく思っております。

当日は、天気にも恵まれ、定員を超える42名の参加者と共に、バスにて大山崎に向かいました。

聴竹居では、建物の維持管理をされている聴竹居倶楽部のボランティアスタッフの方から説明をしていただき、資料などからは分からないような裏話なども話していただきました。

大山崎山荘美術館では、展示品はもちろんのこと、建物や建物からの景色を堪能しました。また、レストハウスや庭園のベンチで聴竹居ご用達弁当に舌鼓を打ちました。

旧西国街道の街並みを語り部の話を聞きつつ散策し、サントリー山崎蒸留所にて小休止を取りました。そして、バスにて最後の目的地である水無瀬神宮に向かいました。

水無瀬神宮では、禰宜の方から茶室「燈心亭」の説明をしていただき、参加者からの突っ込んだ質問にもいろいろと話をしていただきました。

参加者の方々が大変協力的なこともあり、スケジュール通り進行することができ、また、事故もなく無事事業を終えることができました。

また、一般の参加者から次回も参加したいというご意見をいただき、大変うれしく思うと共に、次回

はもっと良いものにしたいという、気の引き締まる思いと充実感にあふれた1日を過ごすことができました。

最後になりましたが、見学をさせていただきました施設の方々や説明までしていただいた方々、そして事前の準備から全面的にご協力いただいたすまいるネットの皆様へ、心よりお礼申し上げます。

記 木下 功



聴竹居にて



大山崎山荘美術館



旧西国街道散策

青年部会の活動（平成 21 年度）を振り返り

青年部会長 荒川 直樹

この一年間を振り返り、本当に恵まれたメンバーと活動が出来た事に心から感謝を申し上げます。未熟な私にチャンスを与えて下さった全てに感謝をいたします。

そして、これまでの諸先輩方によって、作り上げて下さった青年部会をもっと活発にしていきたい。

そのような思いでこの 1 年の活動を行ってまいりました。

また、青年部会が企画している内容を武野支部長、前川副支部長をはじめ理事の皆様の温かいご指導、ご協力により円滑に活動を行う事が出来ました。

今年度のテーマとして「仕組みづくり」（ルール作りを行いました。そして、そのルールが堅苦しい活動を拘束するものではなく、ルールによって誰もが特に新入会員がすぐに活動に馴染める仕組み作りを行いました。）①事業計画書と事業報告書の統一化（フォームを合わせ、重複した内容の記載を減らし、フォームに合わせて事業計画を行う事で個々の経験やレベルに関係なく事業が進めれるようになりました。）②担当制の導入（各事業を担当者が二人ひと組となってやりきるように致しました。）③会議内容の見直し（会議に前回出席していなくても、直ぐに会議に入れるように会議内容の改善、議事録の配布方法、会議の内容の統一化を行いました。）④他支部との連携（部会員同士が他支部の人達とも連携が取れるようにし活動の幅を広げました。）⑤各人の仕事の発表を毎月行うように致しました。（建築士会での活動を営利目的では無く、困った時に助け合いの出来る仲間となれるように 1 年間を掛けて、個々の業務の発表を行いました。建築士としての得意分野を知ることによって様々なチャンスが生まれると考え取り組んで参りました。）

その結果として、6 つの事業を行う事が出来ました。その内容に付きましては、まだまだ不十分な点も多いため、次年度の事業に於いて改善し反映していかなければならないと思っています。

近年は実動青年部会員も増えています。この状況を今後も継続し、神戸支部のボトムアップに繋げ、元気でやる気に満ちた神戸支部を微力ながら青年部会からもブログなどを活用しながら発信していきたいと考えます。



氏名：湖亀一登 「顧問」

性別：男

読書：スキー・山登り

座右の銘：特にありません

幸せと感じる瞬間：息子を風呂に入れてる時かな？

氏名：荒川 直樹 「部会長」

性別：男

趣味：旅行 ゴルフ アウトドア

座右の銘：今、やりきる！

幸せと感じる瞬間：家族で関空に向かっている時

氏名：佐々木 康行 「副部会長」

性別：男

趣味：スポーツ観戦全般、ゴルフ、仕事

座右：継続こそ力なり

幸せと感じる瞬間：子供と遊んでいる時、建物が竣工した時

氏名：大塚 正 「副部会長」

性別：男

趣味：日本のお城巡りと遊園地の絶叫マシーン巡り。

座右の銘：いつも笑顔で～

幸せと感じる瞬間：人々の笑顔に出会った時。

氏名： 野口 直人 「副部会長」

性別： 男

趣味：キャンプ、スキー、ギター

座右の銘：初心忘るべからず

幸せと感じる瞬間：充実した一日を送れた日の晩に布団に入った瞬間

氏名： 山本 幸治

性別：男

趣味：車いじり

座右の銘：お祭男

幸せと感じる瞬間：いつでも幸せを感じれるようにしています。

氏名：山口 悟

性別：男

趣味：ヴァイオリン

座右の銘：趣味は創造のオアシス

幸せと感じる瞬間：オーケストラの演奏会本番の舞台上で弾いている時が至福の瞬間です。

氏名：佐伯亮太

性別：男

趣味：わくわくする路地探し

座右の銘：らしく生きる

幸せと感じる瞬間：思いが形になる時

氏名：寺田 みさと

性別：女

趣味：裁縫・カメラ・物作り

座右の銘：人の振り見て我が振り直せ

幸せと感じる瞬間：子供の寝顔を見てるとき

氏名：奥田 智恵子

性別：女

趣味：旅行

座右の銘：吾唯足るを知る

幸せと感じる瞬間：二度寝

氏名：後藤 敏子

性別：女

趣味：テニス ゴルフ 山登り

座右の銘：なるようになる！

幸せと感じる瞬間：おいしいものを食べているとき

氏名：山下朋代

性別：女

趣味：旅行

座右の銘：Less is more

幸せと感じる瞬間：おいしいものを食べていると

氏名：三島悦子 「相談役」

性別：女

趣味：インテリアショップ巡り。インディーズ映画鑑賞。食べること。競馬を少々（馬好き）。

座右の銘：何事もバランスが大事

しあわせと感じる瞬間：リコ（犬）がうれしそうな顔をした時（卒倒しそうになります）

氏名：堀川 美智代 「相談役」

性別：女性

趣味：食べること。眠ること。

座右の銘：知は金なり

幸せと感じる瞬間：美しいものを見ているとき

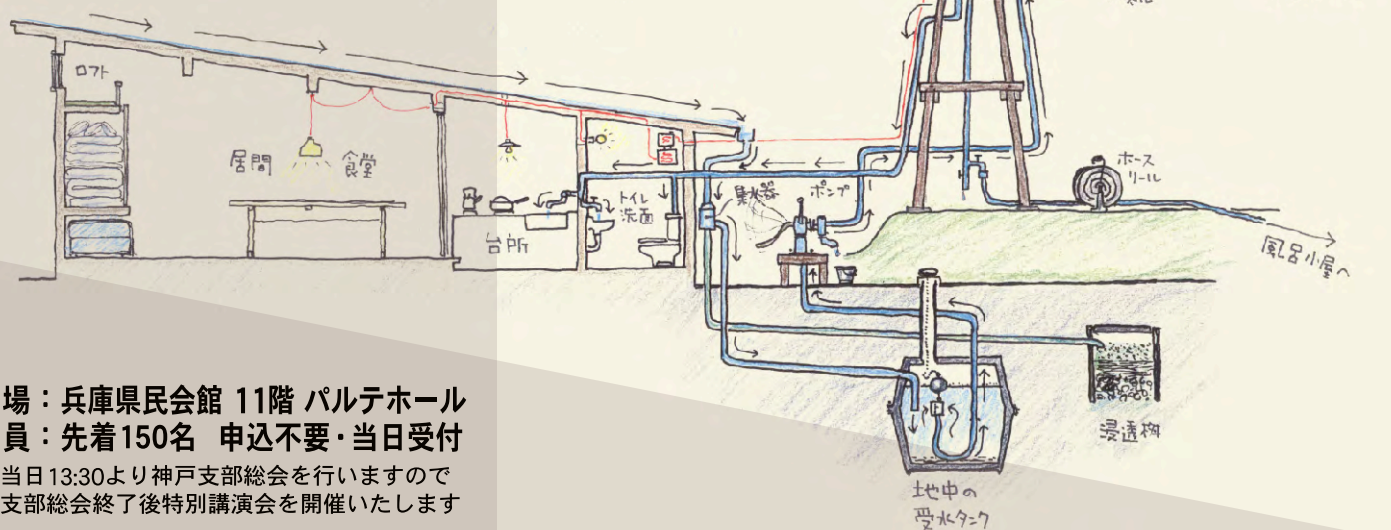
# 「Architect at Home」

平成21年度 社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部青年部会主催 講演会

## 中村好文氏 特別講演会

### 4月25日(土)

14:30～16:30 入場無料



会 場：兵庫県民会館 11階 パルテホール  
定 員：先着150名 申込不要・当日受付  
尚、当日13:30より神戸支部総会を行いますので  
神戸支部総会終了後特別講演会を開催いたします

■講師 中村 好文 (Nakamura Yoshifumi)  
レミングハウス

■経歴

1948年	千葉県生まれ
1972年	武蔵野美術大学 造形学部建築学科卒業
1972年	～1975年
1976年	宍道建築設計事務所 勤務
1976年	～1980年
1981年	レミングハウス 設立
1987年	吉岡賞受賞
1993年	吉田五十八賞「特別賞」受賞
1999年	～現在
	日本大学生産工学部 建築工学科 教授

#### ■受賞歴

「三谷さんの家」で第1回 吉岡賞 受賞  
「一連の住宅作品」で第18回 吉田五十八賞「特別賞」受賞

#### ■主な作品

「三谷さんの家」「清水高原の家」「上総の家 #1・#2」  
「今村家改修」「PINE HOUSE」「美術館 as it is」「扇が谷の住宅」  
「新井薬師の住宅」「風子ハウス」「REI HUT」「久が原のすまい」  
「Apartment 2 1 2 2」「伊丹十三記念館」 など

#### ■主な著書

『住宅巡礼』新潮社／『続・住宅巡礼』新潮社  
『普請の顛末』岩波書店（柏木博と共著）／『普段着の住宅術』王国社  
『住宅読本』新潮社／『意中の建築』上・下巻 新潮社  
『COME ON-A MY HOUSE』ラトルズ など



会 場：兵庫県民会館11階 パルテホール TEL: 078-321-2131 主 催：社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部青年部会  
JR元町駅徒歩7分・市営地下鉄県庁前駅すぐ 神戸市中央区下山手通4-16-3 お問い合わせ：神戸支部青年部会 事務局 TEL: 078-327-0886

事業報告シート									
事業分野	もの・まち・くらし・その他				作成日	平成21年9月30日			
事業名称	異業種勉強会 瓦について								
開催日時	平成21年9月17日(木) 19:00から				(場所) 兵庫県私学会館				
ふりがな	(しゃ) ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい								
活動団体名	(社) 兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会								
事業の目的	日本家屋の重要な建材の一つである瓦を建築士にもっと知ってもらう 異業種勉強会を通じて、他支部(阪神支部)との接点を高める								
主な事業内容	<p>(概要) 『景観に貢献する瓦の魅力と設計』というタイトルで、瓦の歴史、特長、種類についての勉強会 よくわかる瓦屋根設計というマニュアル本を参加者全員に配布 勉強会の後、懇親会を行う</p> <p>(詳細) 今回の事業は兵庫県屋根工事業連合会 青年部の方々に講師に招き、阪神支部との共同事業として行いました。内容としては、第一部「瓦の歴史・景観と瓦の力」と題して説明があり、その後①「瓦屋根は地震に弱い」本当でしょうか?②「選べば粘土瓦。」という二つの冊子から、さらに詳しい瓦の説明が行われました。第二部「瓦の新技術」「屋根に求められる条件」という二つのテーマから現在の最新瓦屋根の状況(新性能、新形状、新素材)の説明が行われました。休憩をはさみ(その間に展示物の説明、質問等を個々にされていました。)第三部として、よくある質問や現場での問題点に対する回答を頂いたり、逆に講師側から建築士への質問等もあり、大変充実した二時間の勉強会でした。</p>								
事業収支	収入	39,000			支部補助(30,000)	参加費(18人*500=9,000)			
	支出	39,000			謝礼(20,000)	手土産(6,300) 雑費(お茶代、資料代他)(12,700)			
	計	±0			(備考)				
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	阪神支部		その他	合計	
	人数	11	7	1	5		15	39	
建築士の関り	古い町並みや、風情のある町並みを守る事。それは文化を守ることという意識を建築士みんなが持ち、日本建築の特徴を後世に継承する事が、我々建築士に課せられた大きな使命の一つだと感じました。								
今後の検討課題	①異業種勉強会は年間での開催回数を増やし、他業種の方々との接触頻度を高め、互いにメリットのある事業開催を検討していこうと思います。②他支部との共同開催の際の、費用や作業の分担の方法については事前にもう少し調整の必要性があると感じました。								
連携・協力組織等	連携：阪神支部青年部会 協力：兵庫県屋根工事業連合青年部								
活動状況写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>								
写真左：展示ブースの様子				写真右：勉強会の様子					
事業担当(報告)者	荒川 直樹 (青年部会)				事業責任者	荒川 直樹 (青年部会長)			
事業担当者連絡先	090-8531-3556				神戸支部所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エキセル山手2F			
事業担当者E-mail	<a href="mailto:info@alacasa.jp">info@alacasa.jp</a>				青年部URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>			



事業報告シート							
事業分野	もの・まち・くらし・その他			作成日	平成21年11月1日		
事業名称	神戸の企業を探方する(第1回シスメックス株式会社)						
開催日時	平成21年10月21日(水) 13:30から			(場所) シスメックス株式会社テクノパーク			
ふりがな	(しゃ) ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい						
活動団体名	(社) 兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会						
事業の目的	神戸市に本社のある企業の建物・施設を見学することで、地元神戸の産業を理解し、神戸の魅力をより深く知ることを目的とする。						
主な事業内容	<p>(概要) シスメックステクノパーク(研究所)を見学した。甲子園球場の2倍という広大な敷地に世界から優秀な研究者を呼ぶためのアメニティ豊かな施設がつくられている。</p> <p>(詳細) 最初の30分間ほどを企業の事業内容およびこの施設のコンセプトについて説明を受けた。その後およそ1時間半ほどかけてカフェテリア、事務・研究所棟(最上階VIPエリア、コラボアトリウム、屋上ヘリポート、地下免震設備)、設特別実験棟(電波暗室)、日本庭園および茶室、庭園および各オブジェ、キッズパーク(託児所)と見学していった。それぞれの施設について、研究者がいかに能力を発揮できるよう、工夫をこらされており、大変興味深いものであった。</p>						
事業収支	収入	39,067	支部補助(25,567)	参加費(23人*500+2人*1,000=13,500円)			
	支出	39,067	案内はがき(18,487)	手土産(6,300)	雑費(資料代、お茶代、交通費他)	(14,280)	
	計	±0(備考)					
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外			合計
	人数	4	23	2			29
建築士の関り	快適で、働きやすく、創造力を発揮しうる環境について、発注者・設計者が本気で考えた結果のひとつの答えがここシスメックステクノパークで実現されている。これほどの大規模な施設を設計することはめったにないであろうし、予算上の制約も多いだろうが、より良いアメニティを求める努力をおろそかにしてはいけないと改めて思い直した。						
今後の検討課題	見学先企業に大変負担のかかる事業になってしまう。ただ、企業側も社会貢献活動の一環と捉えてもらうことで動きやすくなるので、建築士会という法人がどのような団体であるかのPRと、しっかりとした事業計画書を提出するようにしたい。						
連携・協力組織等	協力：シスメックス株式会社総務部						
活動状況写真	<div>   </div>						
写真左：研究所棟の前に参加者全員で				写真右：事業内容および施設の説明を受ける			
事業担当(報告)者	湖亀 一登 (青年部会)			事業責任者	荒川 直樹 (青年部会長)		
事業担当者連絡先	090-2280-6997			神戸支部所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エキセル山手2F		
事業担当者E-mail	<a href="mailto:koki.0228@kzf.biglobe.ne.jp">koki.0228@kzf.biglobe.ne.jp</a>			青年部URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>		



事業報告シート								
事業分野	もの・まち・くらし・その他				作成日	平成21年10月31日		
事業名称	新日本製鐵㈱広畑製鐵所工場見学について							
開催日時	平成21年10月28日(金) 11:30から				(場所) 新日本製鐵㈱広畑製鐵所			
ふりがな	(しゃ) ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい							
活動団体名	(社) 兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会							
事業の目的	通常、個人では見る事の出来ない工場を建築士会の事業という事で見学させてもらう。							
主な事業内容	(概要) ①熱延ラインの見学 ②タイヤガス化リサイクル施設の見学  (詳細) 熱延ラインの見学通路は高さ10mの場所を、圧延工程と並行して歩きました。中は暗く、音が大きく、気温は外気+5℃以上高く、湿度も高かったです。圧延されるスラグという鉄のかまぼこ板みたいなものが出てきたときの見学者の歓声が印象的でした。鉄がものすごい勢いで流れ1.2mmから12mmの厚みに薄板加工され巻かれて行きました。見学ガイドさん曰く本日は5・6本圧延が見学できてかなりラッキーとの事だったので企画者としても大変満足な一日でした。							
事業収支	収入	85,577 支部補助 (47,077) 参加費 (18人*2000+1人*2500=38,500)						
	支出	85,577 バス代 (58,030) お弁当代 (6,358) 雑費 (資料代他) (27,489)						
	計	±0 (備考)						
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外			その他	合計
	人数	3	15	1				19
建築士の関り	建築用鋼材を使用しているが、作る仮定の一部を見学を行う計画としたが、現在では残念ながら広畑では生産制限の為、建築用鋼材は製作していないとの事でした。しかし見学した工程については、成形が違うだけで製作工程の一部である為、勉強になりました。							
今後の検討課題	見学会については、もう少し見学内容の紹介の必要性があると感じられる。その内容の紹介により参加者が増える場合もあると思います。							
連携・協力組織等	協力：新日本製鐵㈱広畑製鐵所見学センター							
活動状況写真	<div>   </div>							
写真左：工場見学の説明会の様子				写真右：展示ブースの様子				
事業担当(報告)者	山本 幸治 (青年部会)				事業責任者	荒川 直樹 (青年部会長)		
事業担当者連絡先	090-9867-0459				神戸支部所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エクセル山手2F		
事業担当者E-mail	<a href="mailto:y_koji@kuroda-sekkei.jp">y_koji@kuroda-sekkei.jp</a>				青年部URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>		

事業報告シート							
事業分野	もの・まち・くらし・その他			作成日	平成21年11月30日		
事業名称	福良港津波防災ステーション現場見学会						
開催日時	平成21年11月14日（水）14：00から			（場所）福良港津波防災ステーション			
ふりがな	（しゃ）ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい						
活動団体名	（社）兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会						
事業の目的	建築物の見学を通じ、建築士としての意識向上を図る。 施工現場を見学することにより、現場監理を行なう際の参考にしてもらう。 現場見学会を通じて、他支部（淡路支部）との接点を高める。						
主な事業内容	<p>（概要）遠藤秀平氏、設計の福良港津波防災ステーションの施工現場の見学。</p> <p>（竣工後注目を集めると思われる建築物の施工現場の見学）</p> <p>（詳細）14：00に福良港津波防災ステーション現地集合し、施工者である森長組の方に現場の行程、施工方法、施設内容の説明を受けた。その後、施工現場の見学を行った。ちょうど鉄骨の梁と曲面の鋼板の壁が立ち上ったところで、特徴的な構造躯体がはっきり見学できた。その後、淡路支部の方のご好意により、丹下健三氏の「戦没学徒記念 若人の広場」国登録有形文化財「田中家住宅母屋」の見学を行った。</p>						
事業収支	収入	29,500	支部補助（20,000）	参加費（9人*500+5人x1,000=9,500円）			
	支出	29,500	案内はがき（12,000）	手土産（6,000）	雑費（資料代、お茶代、交通費他）	（11,500）	
	計	±0（備考）					
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外			合計
	人数	7	9	5			21
建築士の関り	応力の集中をさけるために採用された曲面壁や、効率的な外力を受け流す形状など興味深い構造で、その現場を視察することでもかなり刺激を受けた。また、建物全体を耐候性鋼板による面構造とすることによりメンテナンスフリーとしている。今後、この建築物がどのように変化していくかを建築士として見守り続けたい。						
今後の検討課題	施工者の森長組（西谷様）がかなり協力的に関わっていただいたお陰で事業の方がうまくいったと思います。建築中の現場を見て、さらに竣工後の姿に興味をもち、完成形の見学を是非行いたいと思いました。しかし、施工中の見学会における参加者の安全面に対するケアについては、大きな課題が残りました。今後同様の見学会を開催する際には、事前の告知を含め検討する必要性を感じました。						
連携・協力組織等	協力： 遠藤秀平建築研究所 兵庫県 淡路県民局 県土整備部 洲本土木事務所 港湾第2課 株式会社 森長組						
活動状況写真	<div></div> <div></div>						
写真左：現場の行程・施工方法などの説明を受ける 写真右： 施工現場見学							
事業担当（報告）者	山口 ・ 後藤			事業責任者	荒川 直樹（青年部会長）		
事業担当者連絡先				神戸支部所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エケル山手2F		
事業担当者E-mail				青年部URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>		

事業報告シート								
事業分野	もの・まち・くらし・その他			作成日	平成22年2月23日			
事業名称	わくわくスキー大会・中四国ブロックとの交流会							
開催日時	平成22年2月13日から2月14日			(場所) 鉢北高原スキー場				
ふりがな	(しゃ) ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい							
活動団体名	(社) 兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会							
事業の目的	中四国ブロックが例年行っているわくわくスキー大会に兵庫県が今年は参加することになり、神戸支部青年部会からも5名が参加。他県の士会の人達との交流を行うことで、活動方法等の情報交換を行い神戸支部の活動に生かす。							
主な事業内容	夕方に宿の大広間にて集合。夕食(すき焼き)の際に各県の委員長が挨拶、兵庫県は初参加ということもあり、各支部ごとに挨拶。その後、部屋を替えカニを囲んでの交流会を行った。それから、各部屋に分かれての宴会などを行った。翌日は7:30から朝食、8:00過ぎからスキーを行った。12:00から野間クワッドリフト前にて記念撮影を行い、14:00頃下山 解散となった。							
事業収支	収入	0 支部補助を受けていない為、収支報告無し。						
	支出	0						
	計	±0 (備考)						
参加者	内訳	神戸青年	他支部					合計
	人数	5	47					52
事業による成果	神戸支部としては阪神支部との交流により、各役員レベルでの親睦を深めることが出来。この事は、今後近隣支部との協力体制をとっていく上に於いても有意義な会になったと思う。							
今後の検討課題	当初、わくわくスポーツ大会に対する神戸支部青年部会の現役メンバーに於いては理解している者が少なく、参加人数が限定された。今回の内容を部員に説明することで、今後はもう少し気軽にみんなが参加出来るように、理解を深めていきたい。							
連携・協力組織等	兵庫県青年委員会、鳥取県青年委員会、徳島県青年委員会、岡山県青年委員会							
活動状況写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>							
写真左：夕食時の各支部挨拶の状況								
写真右：グレンデにて記念撮影 (ちょっと集まりが悪かった)								
事業担当(報告)者	荒川 直樹			事業責任者	荒川 直樹 (青年部会長)			
事業担当者連絡先	090-8531-3556			神戸支部所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エキセル山手2F			
事業担当者E-mail	<a href="mailto:info@alacasa.jp">info@alacasa.jp</a>			青年部URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>			



事業報告シート							
事業分野	もの・まち・くらし・その他			作成日		平成22年3月4日	
事業名称	プレーパークプロジェクト（地域貢献活動）						
開催日時	平成22年2月21日（日）13時から（予定）			開催場所		会下山公園（神戸市兵庫区）	
ふりがな	(しゃ) ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんぶかい						
活動団体名	(社)兵庫県建築士会 神戸支部 青年部会						
事業の目的	会下山プレーパークの場において、建築士と地域に暮らす子供達やその親達、地域住民がいっしょになってそれぞれが楽しめる“遊び場のシンボル”をつくるー その作業を通してコミュニケーションを図り、地域に貢献する。						
主な事業内容	<p>(概要) 無機質なスチール製倉庫を丸太や木材で覆い、遊び場のシンボル（活動拠点）として充実させる。</p> <p>(詳細) 丸太や木材を使って倉庫の周囲及び屋根部分をデコレーションし、小屋に見せる。2台ある倉庫間に扉を設け、収納を充実させる。屋根にデッキを設け、樹木を伝って上り下りするなど遊具としての機能を付加する。これらを地域住民と共に行うため、建築士は材料の使い方や工具の扱い方を指導し、製作にも加わる。</p>						
事業予算収支	収入	300,000	地域貢献活動助成金(250,000) 支部補助(25,000) 他(25,000)				
	支出	301,219	事業費: 木材, 金物, 発電機, 運搬費, 材料費(294,819) 広告宣伝費(6,400)				
	計	-1,219	備考				
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	阪神支部	その他	合計
	人数	7	1	0	4	22	34
建築士の関り	建築工事に欠かせない大工仕事の体験からものづくりの楽しさを伝える。また、単なる倉庫を“小屋”に変貌させる＝周囲の景観への配慮という建築士のもつ視点 を認識してもらう等、建築に関わる仕事の理解に繋げる活動は、大変重要だと考えます。						
検討課題	現場経験者が5名ほど参加していたため完成できたが、1日で終わるには作業量が多かった。その為、一般参加者には端材を使った木工教室を行い、焼き芋やまきまきパンの食べ物で作業者をサポートしつつ見学をしてもらった。当日までに前準備をしておけば、もう少し余裕を持つことができ、参加者に作業を分担できたと思います。						
連携・協力組織等 連携：阪神支部青年部会							
							
事業担当(計画)者	三島悦子		事業責任者	三島悦子			
事業担当者連絡先	090-8168-5286		神戸支部所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エクセル山手2F			
事業担当者E-mail	<a href="mailto:wag55865@nifty.com">wag55865@nifty.com</a>		青年部URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen/">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen/</a>			

## 耐震診断特別委員会

2009年度、建築士会では神戸市から委託の耐震診断を112件行いました。

### 神戸市診断事業実績

【単位：戸】

項目/年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	合 計
戸建住宅	—	280	335	214	213	362	561	561	680	537	3,743
マンション	2,669	8,665	2,774	341	22	1,610	2,796	781	883	1240	21,781
長屋住宅	—	—	—	8	13	48	75	36	62	76	318
建築士会								75	111	112	298

2009年度分は確定していません

### 神戸市耐震改修

工事（一般型）【単位：戸】

項目/年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	合 計
戸建住宅	10	52	102	137	172	473
共同住宅	0	102	6	7	101	216

工事（小規模型）【単位：戸】

項目/年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	合 計
戸建住宅	0	3	12	13	7	35

計画（小規模型）【単位：戸】

項目/年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	合 計
戸建住宅	0	2	13	15	8	38

2009年度分は確定していません

建築士会では30名程度の診断員で業務を行なっています。診断員は診断結果の報告と共に改修工事の説明も行なっていますが、上記の通り診断件数に比べ、改修工事へなかなか進みません。平成22年度ではさらに改修計画への助成金の上乗せがあります。

この事業は神戸市民の生命を守る重要な役割があります。さらに市民にとってはなかなか専門家に建物を見てもらう機会がない中で、このことにより耐震性の事だけではなく建物に対する不安な事を聞ける機会でもあります。また士会にとっては市民に建築士の事、建築士会の事を知っていただくチャンスでもあります。新年度においても続けて耐震診断の受託を行なっていきます。

（田中 義之）

